

# 新型コロナウイルス感染症対策について

奈良県総務部知事公室  
防災統括室

# 本県の3つの対処方針

1. 感染経路の類型を明確化し、類型に応じた明確な注意をする。
2. 感染者を早期発見・即時隔離し、感染されたすべての方に入院治療・宿泊療養を提供する。
3. 重症化予防により、死亡や後遺症の発生をおさえる。

# 1-1 全感染判明者の1次～4次までの感染分析をし、その類型がわかってきています

○7月以降8月18日までの全感染判明者数 348名

1次感染者 128名

2次感染者 138名

3次感染者 15名

4次感染者 2名

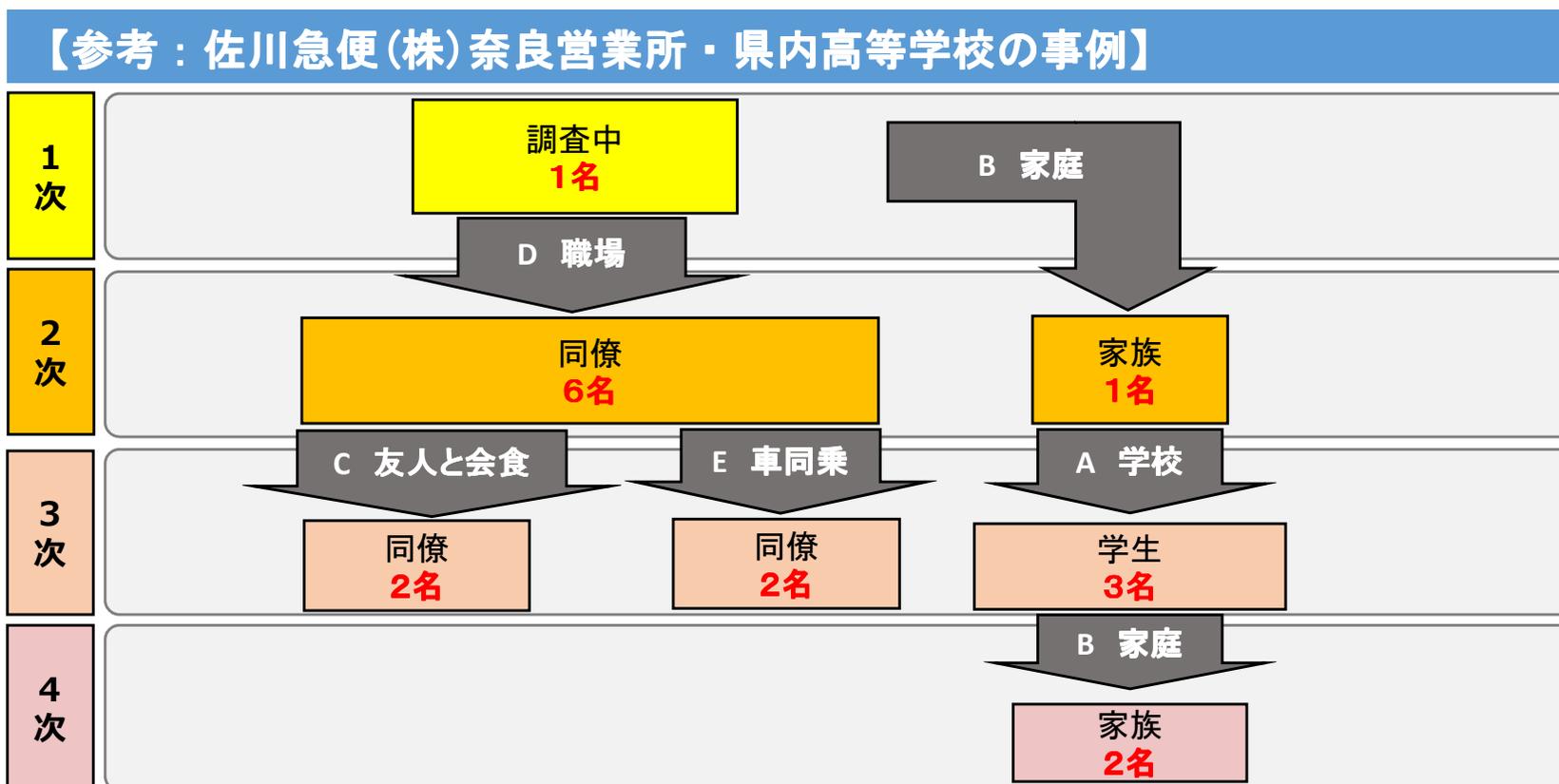
調査中 65名

## 1-2 1次～4次感染者とは

○ 1次感染者・・・県内在住者として最初に感染された方  
(県外感染者との接触により感染された方)

○ 2次感染者・・・1次感染者から感染された方

以下、3次・4次と連鎖します



# 1-3 1次感染者の類型(8月18日現在)

○大阪等に**行って**、うつされた人 117名

大阪		大阪以外				
104名		13名				
飲食	勤務	買い物	学校	スポーツ	ジム	車乗車
82名	23	5	4	1	1	1

○県外から奈良県に**こられた方から**、うつされた人 11名

大阪	近畿圏 (大阪以外)	東京	首都圏 (東京以外)
6名	3名	1名	1名
仕事	家族	友人	
5名	3名	3名	

## 1-4 2次～4次感染者の類型(8月18日現在)

類 型	7月以降	第1波(1～6月)
A 学校・寮生活	56名	
B 家庭	43名	21名
C 友人宅訪問・友人と飲食等	33名	
D 職場	13名	
E 車同乗	5名	
F 病院内	4名	
G 福祉施設内	1名	
合 計	155名	21名

- 7月以降の感染では、**学校・寮生活、家庭、友人との交流**が目立っています。
- また、県内事業所、県内飲食店及び県内大学における部活動・学生寮でクラスター感染が発生しました。

**1－5 詳細調査の必要な案件が当初は残りますが、  
調査が進展すると類型が判明してきます  
(8月18日現在の推定案件 65名)**

**○勤務・通学先が県外 22名**

**○勤務・通学先が県内 30名**

**○仕事以外 13名**

## 1-6 類型判明 ⇒ 注意事項の明確化

### A. 学校・寮生活

人との間隔を空け、マスク着用を徹底



部活では距離を空け、密集や対面の発声は避ける

寮の共用部分での多人数、向かい合わせは避ける

### B. 家庭



帰宅後すぐに手洗い！着替え！シャワー！

タオルの共用は避け、こまめな洗濯を

## C. 友人宅訪問・友人と飲食等

多人数、長時間、密室は控える



向かい合わせは避け、間隔をあけ横並びに

大声での会話は控え、食事以外はマスク着用

## D. 職場



マスクを着用し、換気を徹底

向かい合わせは避け、配席を工夫

## E. 車同乗



マスクを着用し、換気を徹底

## F. 病院内

職員の健康管理を徹底



医療機器、備品器具等はこまめに消毒

職員の休憩は、多人数、向かい合わせは避ける

## G. 福祉施設内

手指消毒、マスク着用、換気を徹底



職員及び利用者の健康管理を徹底

職員の休憩は、多人数、向かい合わせは避ける

# 市町村の皆様へのお願い

- 感染経路の分析により、以上のとおり類型に応じた注意事項を明確にしました。
- 各市町村におかれましても、住民の皆様に注意喚起をされる際、本注意事項を参考にしていただくようお願いいたします。

# 2-1 感染拡大防止のため、感染者を 早期発見・即時隔離しています。

## PCR検査体制の更なる強化

PCR検査件数・・・1日最大**717件**可能  
(8月18日現在)

- 県保健研究センター・・・60件
- 奈良市保健所・・・・・・・72件
- 民間検査機関・・・・・・・546件
- 医療機関・・・・・・・39件

## PCR検査対象

症状の有無にかかわらず、**感染リスクのある人を対象**とします。

- 例
- 検査前2週以内に新型コロナウイルス感染判明者と接触した人
  - 検査前2週以内に感染リスクのある場所に滞在した人
  - 勤務先や通学先、自宅などに、発熱などの有症状者がいる人
  - 医療従事者、福祉施設従事者

## PCR検査結果待機者の同居家族などの 受け入れ体制

PCR検査の結果を待つ**自宅待機者の家族など**の  
宿泊施設の確保を目指します。

居室様式

個室・洋室  
(バス・トイレ付)

## 発熱外来クリニック

**4カ所**(8月18日現在)

- 奈良県西和医療センター
- 橿原地区新型コロナウイルス感染症外来
- 奈良市地域外来・検査センター
- 天理地区PCR検査センター

## 2-2 感染されたすべての方に

入院治療・宿泊療養を提供しています。

500床確保を目標とし、467床確保しています。

8月18日現在

区分		感染小康期	感染再拡大期	感染まん延期
重症	人工呼吸器を必要とする患者	入院 200床	入院 316床	<b>467床 + <math>\alpha</math></b> 〔500床の確保を 目指します〕
中等症	医学的に入院が必要な患者(酸素投与が必要等)	うち重症対応病床 12床	うち重症対応病床 18床	うち重症対応病床 <b>25床</b>
軽症	その他の患者	宿泊療養 108室	宿泊療養 108室	宿泊療養 <b>108室 + <math>\alpha</math></b>

2-3 入院病床の現在の占有率は約19%、  
宿泊療養の現在の占有率は約30%となっており、  
ともに**余裕のある状況**です。

入院対応可能数      4 6 7 床

占有者数              9 0 名

**占有率**                **約 1 9 %**

宿泊療養室数        1 0 8 室

占有者数              3 2 名

**占有率**                **約 3 0 %**

2-4 入院病床の現在の占有率は、  
第1波時と比較しても**余裕のある状況**です。

	第1波 (4/22)	現在 (8/18)
対応可能数	64床	467床
占有者数	50名	90名
<b>占有率</b>	<b>約78%</b>	<b>約19%</b>

3-1 重症化予防により、死亡や後遺症の発生をおさえます。重症化率・死亡率は、第1波よりも低下していますが、高齢者・既往症をお持ちの方の感染に気をつける必要があります。

	第1波	7/4~8/18
感染者数	92名	348名
重症化患者数	6名	6名
重症化率	約7%	約2%
死亡者数	2名	1名
死亡率	約2%	約0.3%

3-2 重症患者に対応した病床を25床確保しています。現在の占有率は**12%**となっており、**余裕のある状況**です。

第1波 (4/29)

現在 (8/18)

対応可能数

6床

25床

占有者数

5名

3名

**重症化率**

**約83%**

**12%**

# 市町村の皆様へのお願い

県民の方が、身近な場所で検査を受けられるように、**発熱外来クリニックの設置**や、**発熱外来認定制度の活用**のご検討をお願いします。

また、安心して入院医療を受けられるよう、**公立病院における病床確保**へのご協力をお願いします。

- 「発熱外来クリニック」の設置により、住民ニーズに対応しPCR検査や抗原検査の実施体制を整えることが可能です。
- 「発熱外来認定医療機関」として認定を受けることにより、へき地診療所や休日夜間応急診療所などの公立医療機関においても新型コロナウイルス感染症の検査を取り扱うことが可能です。  
**現在、45医療機関が認定**されています。